

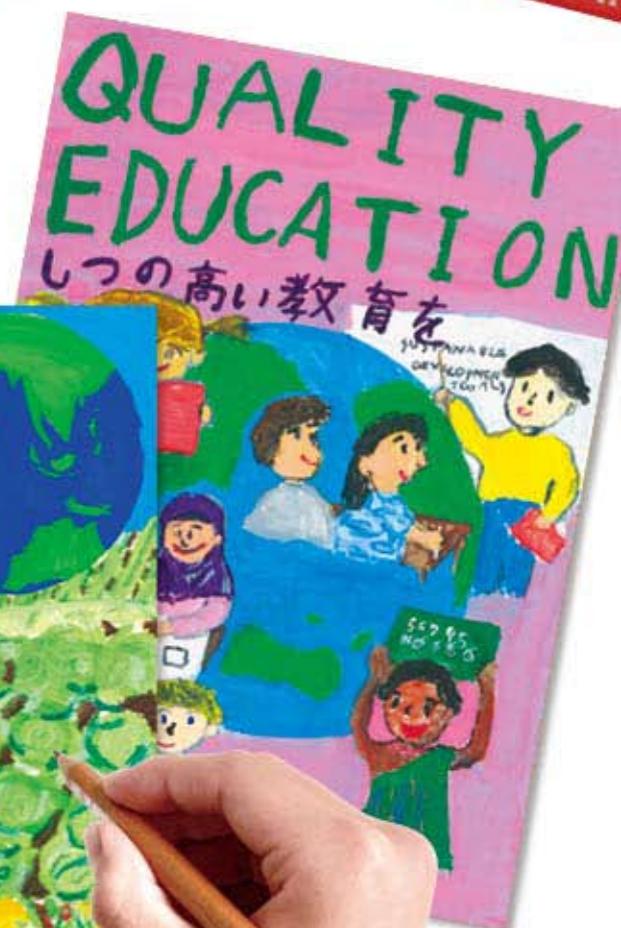
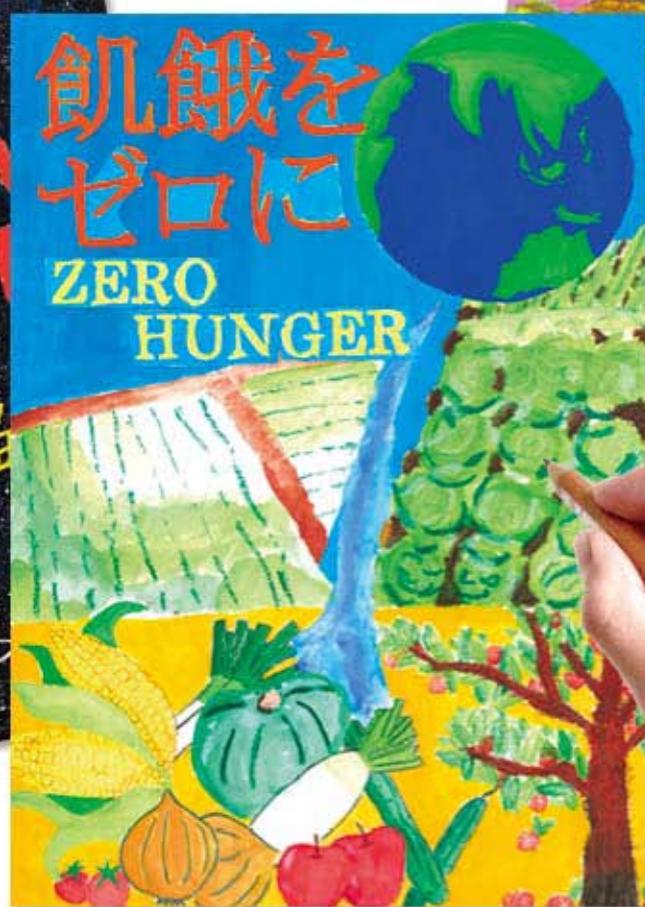
きょうしつ
教室でチャレンジ!

エス ディー ジーズ
SDGS

ワークショップ

2 SDGsポスターをかこう

著/稲葉茂勝
監修/小石新八



1 ポスターの えがき方の基本

「コンクールでは、過去の入選作品をまねるとよい」とよくいわれます。過去に入賞している作品を見て、どういうものが入選しているかを学ぶことが入選するコツだということです。ほんとうにそうでしょうか？

「学ぶ」のいいけれど

一般にコンクールには、「過去に入賞している作品を調べて、全体のような作品の特徴を学習するように」、また「優秀作品をまねるのはいけないが、参考にしたらよい」「文字の配置や絵のふんいきを参考にしたらよい」などといわれることがあります。

「SDGsポスター」をえがく際に、ほかの作品を「学習」するのは、とてもよいことなのです。どうでしょうか？ 理由は、何のためにSDGsポスターをつくるのか？ を考えるとわかります。

それは、「SDGs意識の喚起」(→p9)のためです。それも、ポスターをつくる過程で、自身がSDGsをより深く学ぶためなのです。ポスターをしようずにえがくことが目的ではありません。

目標14はどうしてウミガメばかり？

右のページには、「第1回SDGs全国子どもポスターコンクール」の応募作品の一部をのせました。すべて目標14をテーマにしたものですが、ウミガメがえがかれたものがとても多いことがわかります。はじめてのコンクールですから、過去の作品はありません。それでも同じようなイメージの作品がたくさん集まってきたのです。この理由は、「海の豊かさを守ろう」ということを考えたとき、多くの子どもたちがウミガメを思い出したからでしょう。子どもたちは学校で、プラスチックごみや重油などが海の豊かさをおびやかしていると学習したかもしれません。このように、SDGsを学習する過程が同じようなら、結果も同じようになります。あえて、ほかの作品を参考にしたりまねしたりする必要はないわけです。

この緑色の文字のことを、よく理解してほしいな。



●2020年度「第1回SDGs全国子どもポスターコンクール」に応募された、目標14をえがいた作品



2 自立つポスターのデザイン



ポスターの目的の1つは、「公共意識の喚起」(→p8)です。より多くの人々の目にとどかなければなりません。自立つことが必要です。ここでは、どうすれば自立つポスターにできるのか、デザインの基本をまとめてみましょう。

自立たせるための基本

ポスターには大きく分けて次の3種類がありますが、多くは文字とビジュアルの組み合わせです。

- ①文字だけのもの
- ②ビジュアルだけのもの
- ③文字とビジュアルを組み合わせたもの

「ビジュアル」とは、「視覚にうったえるもの」のことで、写真やイラスト、模様などをさします。

③のポスターの場合、文字とビジュアルのバランスが重要になります。

一般に、自立つポスターのデザインというと、右上のような要件を満たすものだとわれています。

- なるべく大きな文字にする。
- 反対色(青と赤など)や、黒と黄色など、よく自立つ色の組み合わせをつかう。
- インパクトのある写真やイラストをつかう。
- 「カラーUD」(→ものしりコーナー)をつかう。
- ていねいにえがく。

いっぽう、ポスターとしてよくないデザインは、次のようになっているものだとわれています。

- ・文字とイラストのバランスがよくない。ごちゃごちゃしている。
- ・色覚障がいの有無にかかわらず、見分けにくい色の組み合わせになっている。
- ・色のはみ出しなどがあり、ていねいにえがかれていない。

ものしりコーナー!

「カラーUD」とは

色覚に障がいのある人は、色の見え方が多くの人とちがうために、標識などを識別しにくいことがある。だが、障がいがない場合でも、見分けにくい色の組み合わせはある。そうしたことをなくそうというのが、「カラ

ーユニバーサルデザイン(カラーUD)」だ。ユニバーサルデザインというのは、「すべての人にやさしいデザイン」という考え方のことで、これを色についていうときの言葉が「カラーUD」だ。

目に飛びこむのは一瞬

ポスターのデザインでいちばんたいせつなのは、一瞬で目に飛びこみ、人の気持ちに入りこむことです。だれが、どんな状況で(たとえば歩きながら)見ても、その人の「意識を喚起する」ことができるようにすること。かんたんにいえば、人が足を止めて、思わず見入ってしまうようなデザインにすることです。

そうしたデザインが、ポスターには求められているのです。また、ポスターはデザインはもちろんのこと、その内容がひと目で伝わるものでなければなりません。

一瞬でひきつけられた人が、近よってきて、じっくり見てくれた場合には、そこに細かな情

報があってもかまいません。むしろ、小さい文字で情報が掲載されていることはよいことです。

ただし、その小さな文字の情報が、ポスター全体のデザインをくずしてしまい、一瞬でひきつける力をなくすようでは、元も子もありません。このことは、左ページに記したとおり、文字とビジュアルのバランスが重要だということの意味しているのです。

選挙ポスターが、その例です。一瞬で、候補者に興味をもった人が、その人についてもっと知りたいと思って、ポスターに近づいていき、書いてある小さな文字を読む、ということはよくあることです。

パッと見て、どのポスターが自立つかな? 色や文字のバランス、写真やイラストのインパクトが重要だとわかるよね。



2022年7月10日投票日の参議院議員選挙(東京都選出)のポスター掲示場。

3 エスディージーズ SDGsポスターをつくる手順

ポスターをつくる(えがく)には、一般的な手順があります。文字とビジュアルとは、ふつうは文字のほうから書きはじめます。また、文字とビジュアルでつくるポスターは、内容を文字であらわすことが重要だといわれています。

文字から書く

「SDGs意識を喚起する」(→p9) ことでは、SDGsの何を喚起させ(思い起こさせ)たいと思っポスターをつくらうとしているのかを、作りはじめる前にしっかり考えなければなりません。そして、それを言葉であらわすのです。たとえば、目標14のポスターをつくる際には、テーマ「海の豊かさを守ろう」をそのまま使用してもよいし、それを自分なりの言葉におきかえて表現してもよいでしょう。

次に、フォント(デザインを統一した、ひとそろいの文字)、大きさ、配置を決めます。下はその例です。

海の豊かさを守ろう
海の豊かさを守ろう
海の豊かさを守ろう

海の豊かさを守ろう	海の豊かさを守ろう	海の豊かさを守ろう
-----------	-----------	-----------

イラストをえがく

イラストや模様は、文字をよけてえがいてきます。ただし、文字を下書きで書いておいて、その上からまず絵を完成させ、絵の上から文字をのせるというのかまいません。

えがく際に注意したいのは、自分のイメージだけでえがいてはいけないということ。いかえると、えがこうとするものをしっかり調べてから、えがくことがたいせつなのです。たとえば、13ページのウミガメも、いかげんな形をかってにえがくのではなく、より正確な形・色などにしていくように心がけなければなりません。その上でキャラクター化したりマークのようにかいたりしてもいいのです。それは、いかげんということではありません。また、15ページで記したとおり、ポスターを目に飛びこませるには、できるだけ大きくインパクトのあるイラストをえがくほうがよいでしょう。魚をえがくときなど、小さい魚をたくさんえがくより、インパクトのある大きい魚を1匹えがくほうが引きたつことがあります。もちろんそれもSDGsの何を喚起しようとするのかの内容により、いちがいにはいえませんが。

背景から色をぬっていく

地色をぬらないで画用紙の白い色のままというポスターもありますが、普通は文字を配置し、イラストの下書きをえがいてから、余白に地色をぬります。

なお、地色に模様をつけることもあります。その場合、色をぬる順番に注意しましょう。ポイントは次の2つです。

- うすい色からぬる。
- 広い面積からぬる。

透明水彩絵の具の場合、こい色からぬってしまくと、失敗したときに修正がききません(不透明水彩絵の具は、重ねぬりが可能)。また、メインのイラストをえがいたあとに地色をぬると、地色がはみ出してしまふこともあります。いかえると、背景を先にぬっておくということになります。



SDGsポスターだから

SDGsのロゴマークには、目標番号と目標を短い言葉であらわした「テーマ」(標語のようなもの→1巻p4)と、イラストがえがかれています。それを参考にしてSDGsポスターのイラストを考えるのも1つの方法です。でも、そのイラストはあまりにも抽象化されたものなので、意味が伝わりにくいという面もあります。そのテーマをより多くの人に喚起させるにはどんなイラストにしたらよいか、考えなければなりません。

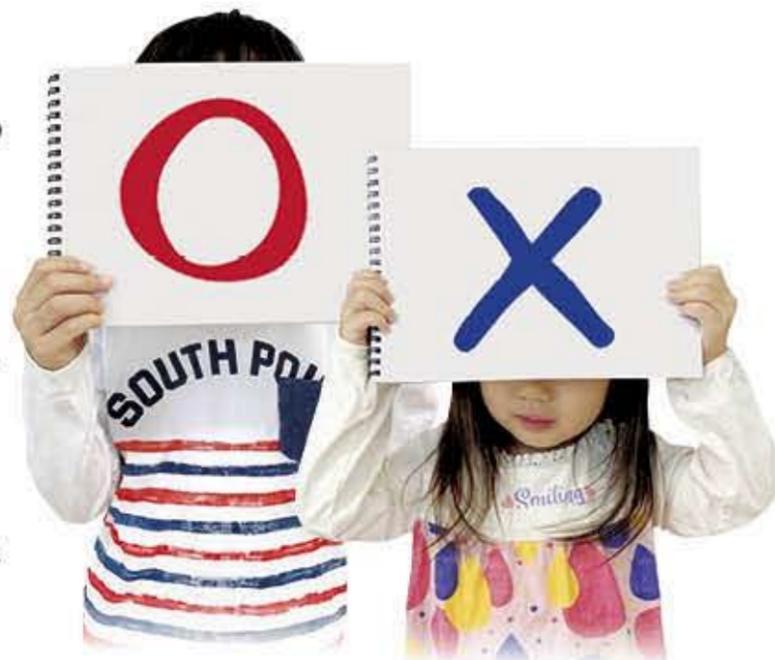
12ページには、ポスターをつくらうするとき、ほかの作品を参考にするのはよいと書いてあるね。SDGsのロゴマークも、参考にしたいと思うけれど、デザインをまねてはいけないよ!

国連が使用しているSDGsのロゴマーク



4 ポジティブ・ネガティブ

ここでは、ポジティブ(肯定的)・ネガティブ(否定的)ポスターについて考えてみます。何を肯定・否定するというのでしょうか。



17個の目標自体の区別

ポジティブ(→p38)なポスター(ポジティブ・ポスター)、ネガティブ(→p38)なポスター(ネガティブ・ポスター)について考える前に、クイズをやってみましょう。

Q3 下の①②③に、右の目標1~17をあてはめると?

- ① マイナス状態の改善を喚起する目標
- ② ゼロベースからプラスへの改善を喚起する目標
- ③ ①②のどちらともいえない目標

- 目標1 貧困をなくそう
- 目標2 飢餓をゼロに
- 目標3 すべての人に健康と福祉を
- 目標4 質の高い教育をみんなに
- 目標5 ジェンダー平等を実現しよう
- 目標6 安全な水とトイレを世界中に
- 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 目標8 働きがいも経済成長も
- 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 目標10 人や国の不平等をなくそう
- 目標11 住み続けられるまちづくりを
- 目標12 つくる責任つかう責任
- 目標13 気候変動に具体的な対策を
- 目標14 海の豊かさを守ろう
- 目標15 陸の豊かさを守ろう
- 目標16 平和と公正をすべての人に
- 目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

17ページにも書いたとおり、SDGsポスターをつくる時に、SDGsのロゴマークも参考になります。とくに、ロゴマークに書かれているテーマを考えることは、ポスターの内容を考える上でとても重要です。

このクイズの答えは、右ページ下にあるよ。でも、答えを見るよりもじっくり考えることに意味があるんだよ。貧困や飢餓がある状態、ジェンダーが平等でない状態というのは、どういうことかな？ また、安全な水とトイレは日本をふくむ先進国にはあるけれど、そうでない地域も多いね。だから、「世界じゅう」にしているんだね。こんなふうに17個のテーマの1つひとつを考えてみようね。

大きく分けて2種類

ポスターには、ポジティブ・ポスターとネガティブ・ポスターの2種類があります。

- ポジティブ・ポスター 「～しよう」「～をめざそう」とよびかけるもの、喚起するもの。
- ネガティブ・ポスター 「～するな」「～してはいけない」と、ズバリ禁止したり、「～しないように気をつけよう」と喚起したりするもの。

SDGsの17個のロゴマークに書かれているテーマは、どれもポジティブなものです。それを参考にして、ネガティブな内容のポスターにすることもできます。

たとえば、次のように。

- 目標1:「貧困者を出してはいけない」
- 目標2:「飢餓をつくってはいけない」
- 目標3:「たばこをすってはいけない」
- 目標14:「海をよごしてはいけない」

も のしりコーナー!

ポジティブ・ネガティブのあったポスター

このポスターは、「二酸化炭素を除去しよう」というポジティブ(肯定的、積極的)といってもよいな意味と、「象牙をとってはいけない」というネガティブ(否定的、消極的)な意味の絵がえがかれているユニークなもの。

東京都 小学3年生



禁止マーク

ネガティブ・ポスターによく用いられるのが、「禁止マーク」です。赤い丸にななめの線で「禁止」をあらわします。

Q4 日本で一般的に使用されている禁止マークは、②、①のどっち?



えっ! どっちだったかな? 実物を見てたしかめてみよう。

も のしりコーナー!

あの映画のマークは?

人気映画「ゴーストバスターズ」シリーズのポスターなどにえがかれた「禁止マーク」は、2種類ある。左上から右下へななめの線が入ったもの(日本やアメリカで右折禁止などを示す道路標識と同じ)と、その逆のものだ。なぜ2種類あるかはわからない。



シリーズ1作目の、1984年の公開当時のポスター(左)と、2021年現在発売中のDVD(右)。2021年公開の最新映画ポスターは、DVDと同じく左上から右下にななめの線が入ったバージョンだ。